

一般質問

氏名	質問の要旨
中村 博満	1 コミュニティセンター等施設の維持整備運営について
佐藤 操	1 交幹線道路沿い農業振興地域の緩和と用途地域の見直しについて
中村 武彦	1 都市再生整備計画の概要と進捗状況について 2 若津地区の振興について 3 堤上野線の現況と今後の事業計画について
古賀 龍彦	1 小中学校の教室にエアコン設備を 2 インテリア産業活性化の取り組みについて
岡 秀昭	1 いちよう通りの延伸と県道水田大川線へのバイパス化について 2 行政区長制度について
古賀 光子	1 うつ病対策について 2 高齢者の健康長寿支援策について
石橋 正毫	1 第5次マスタープランにおける適正な土地利用の促進について
神野 恒彦	1 人口減対策について 2 まちづくり推進事業と地域コミュニティ活動の充実について
川野栄美子	1 大川市の花（カンナ）木（桐）をまちの美しさに 2 まちづくりの中に「大川教育の日」を男女共同参画条例に向けての取り組みは
平木 一朗	1 子どもたちの教育環境について 2 木工まつりについて



コミュニティセンター等施設の維持整備運営について

中村 博満 議員

問

市内6カ所のコミュニティセンターはいずれの施設も建設後25年以上経過しているが、その老朽化対策について、伺いたい。

また、次年度以降のコミュニティセンターの管理運営に係る指定管理について、いまだ募集・決定がなされていないが、どのようなになっているのか、さらに、コミュニティセンターの役割について、市長の考えを伺いたい。

答

市内のコミュニティセンターは、6施設ともおよそ30年程度経過している。これらの施設の維持管理については、施設の長寿命化を図るため、必要に応じ適切な補修、修繕を行っている。

指定管理者の募集については、受託されているNPO法人大川市コミュニティ協議会も含め、地域に密着したどのような団体組織が指定管理者として適切であるか、現在検討しているところである。

コミュニティセンターは、地域住民の自主的、自発的なコミュニティ活動により、明るい地域社会の実現を目指すための拠点となる施設であるが、今後のまちづくりを進めていく上で、どのように活用できるかなど関係者と協議を始めているところである。



幹線道路沿い農業振興地域の緩和と用途地域の見直しについて

佐藤 操 議員

問

これから大川市の経済、産業、雇用を考えたとき、多くの人に来ていただくまちづくりが大事であり、そのためには幹線道路沿いの農業振興地域の緩和や、用途地域の見直しが必要と考えるが、市長の考えを伺いたい。

答

農業振興地域における幹線道路沿いの農用地の開発については、農業振興地域の整備に関する法律の網がかぶっており、開発には一定の制限が加えられている。

しかしながら、将来にわたって農業的な土地利用を強いていくことは非合理であり、本市の発展及び地域の発展を展望するためには、農業と商工業の調和ある土地利用を進める必要がある。

今後、幹線道路沿いの都市的土地利用の実現に向けて最大限の努力をしていきたい。

また、用途地域は、都市的土地利用を目的に規制誘導をおこなっている地域であり、農業振興地域における農用地とは土地利用の目的がもとと異なる。用途地域内の農地には農業振興地域における農用地のような農業基盤整備等の事業はないが、用途地域内農地の整備については、これまでどおり農道やクレークの整備など個別の対応を行っていききたい。